

日本労働社会学会会員各位

日本労働社会学会 第21期 第8号 2009年2月25日(水)

日本労働社会学会事務局(第21期)
〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-4
横浜国立大学経営学部 小川 慎一(おがわ・しんいち)
Tel & Fax: 045-339-3767 E-mail: sogawa@ynu.ac.jp
学会 HP: <http://www.jals.jp>

★会費納入★恐れ入りますが学会費の納入は、現金書留ではなく、下記の口座までお願いします。

【郵便振替口座】口座番号: 00150-1-85076 加入者名: 日本労働社会学会
【銀行振込口座】三菱東京UFJ銀行 浜田山出張所
口座番号: 普通預金 0411742 口座名: 日本労働社会学会 榎本環
◆年会費 学生・院生会員: 6,000円 / 一般会員: 10,000円

今後の日程:

1. 次回(第21期第3回)幹事会 2009年3月7日(土)午後13時-15時
青山学院大学渋谷キャンパス・ガウチャーメモリアルホール(15号館)
「3階の15301教室」
※【ご注意】開催教室が変更されました。建物は同一です。
(<http://www.aoyama.ac.jp/other/map/aoyama.html>)
2. 次回(第21期第2回)研究例会 2009年3月7日(土)午後15時-
(幹事会終了後)
青山学院大学渋谷キャンパス・ガウチャーメモリアルホール(15号館)
「3階の15301教室」
※【ご注意】開催教室が変更されました。建物は同一です。
(<http://www.aoyama.ac.jp/other/map/aoyama.html>)
報告者(1): 川上千佳氏(奈良女子大学大学院)
テーマ:「女性ホワイトカラーと保育サービス」
報告者(2)遠藤公嗣(明治大学)
文献研究:「職務給と同一価値労働同一賃金原則について」
3. 『日本労働社会学会年報』投稿予告の締め切り
2009年3月5日(論文、研究ノート、書評、海外動向すべて)
4. 『労働社会学研究』第11号エントリー(投稿申し込み)締め切り
2009年4月30日(当日消印有効)
5. 第21回大会 2009年11月20日(金)・21日(土)・22日(日)
会場: 佛教大学(アクセス <http://www.bukkyo-u.ac.jp/bu/guide/access/>)
※観光シーズン中ですので、宿泊先や交通手段の早めのご予約をお勧めします。

もくじ

1. 【重要】次回(第21期第2回)研究例会の教室変更

2. 『日本労働社会学年報』原稿募集（再掲）
3. 『労働社会学研究』第11号の原稿募集について（再掲）

1. 【重要】次回（第21期第2回）研究例会の教室変更

次回（第21期第2回）研究例会の開催教室が変更されます。

変更前：「青山学院大学渋谷キャンパス・ガウチャーメモリアルホール（15号館）9階の15906教室」

変更後：「青山学院大学渋谷キャンパス・ガウチャーメモリアルホール（15号館）3階の15301教室」

<http://www.aoyama.ac.jp/other/map/aoyama.html>

ちなみに、変更前の教室にも、変更後の教室を指示する貼り紙が掲示されます。

なお開始予定日時に変更はございません。

3月7日（土）午後15時－（幹事会終了後）

報告者(1)：川上千佳氏（奈良女子大学大学院）

テーマ：「女性ホワイトカラーと保育サービス」

報告者(2)遠藤公嗣（明治大学）

文献研究：「職務給と同一価値労働同一賃金原則について」

2. 『日本労働社会学年報』原稿募集（再掲）

『日本労働社会学年報』第20号の原稿を募集します。

- ①募集する原稿は、論文、研究ノート、書評、海外動向等とします。
- ②投稿予定のある方は、以下の連絡先までハガキで投稿予告をしてください。予告ハガキには、氏名、所属、連絡先（住所、電話、電子メールアドレス）、原稿の区分（論文、研究ノート、書評、海外動向の別）、仮題名、予定枚数、書評の場合は対象とする書物のデータ（編著者名、書名、発行所、刊行年、定価）を明記してください。
- ③刊行スケジュールは以下の通りです。
投稿予告の締め切り 2009年3月5日（論文、研究ノート、書評、海外動向すべて）
投稿論文締め切り 2009年4月10日
書評・海外動向締め切り 2009年5月31日
- ④投稿予告および原稿はハガキまたは封筒に「労働社会学会年報関係」と朱書して下記まで郵送してください。
『年報』編集委員会連絡先 山田 信行（『労働社会学年報』編集長）
宛先〒154-8525 世田谷区駒沢1-23-1 駒澤大学文学部 山田 信行 宛て
電話 03-3418-9293 E-mail: nyamada@komazawa-u.ac.jp
- ⑤著書を書評で取り上げることをご希望の場合は、上記の連絡先までご一報ください（3月5日まで）。
- ⑥編集規定、投稿規定については、年報の第18号の巻末をご覧ください。
- ⑦なお、大会での報告経験がない投稿希望者は、投稿内容について研究例会で

の報告を行うようお願いします。研究会報告のお問い合わせは、研究活動委員会（神谷拓平会員）までご連絡ください。

（連絡先は以下の通り。研究活動委員会担当幹事 神谷拓平）
茨城大学 人文学部 神谷拓平

Tel 029-228-8187（研究室直通）

E-mail: kamiya@mx.ibaraki.ac.jp

（藤田 栄史）

3. 『労働社会学研究』第11号の原稿募集について（再掲）

『労働社会学研究』編集委員会

『労働社会学研究』第11号の原稿を募集します。

投稿を希望される方はまず、編集委員会委員長の松尾まで電子メール（ないし郵送、ファックス）で投稿希望である旨のご連絡をお願いします。（「エントリー」（投稿申し込み））

その後、下記の事項を記載した投稿希望書（用紙は随意、ただし下記の記載事項を明記のこと）を松尾まで電子メール（ないし郵送、ファックス）にてお送りください。

会員の皆様方は、実態調査に基づく論文・研究ノートをふるってお寄せください。なお、投稿および投稿申し込みにあたっては、『労働社会学研究』第10号に掲載されている投稿規程および確認事項を熟読されるようお願いいたします。原稿分量は24,000～32,000字となっております。なお本雑誌は、若手の研究者に限らず、日本労働社会学会のすべての会員の皆様に広く開かれた雑誌です。意欲的な実証研究の投稿をお待ちしています。

投稿論文をより良いものとするため、投稿希望者の方には投稿いただく内容について研究例会での報告の機会を提供いたしております。研究会での報告は投稿にあたっての義務ではありませんが、研究会を通じて有意義なコメントが得られるものと期待されますので、可能な方はぜひ研究会で報告していただきたいと思っております。

記

1. 刊行スケジュール

エントリー（投稿申し込み）	2009年4月30日（当日消印有効）
投稿希望書締切	2009年5月31日（当日消印有効）
原稿締切	2009年6月30日（当日消印有効）
発行予定	2010年3月

2. エントリー（投稿申し込み）及び投稿希望書送付先

『労働社会学研究』編集委員会 松尾孝一 宛

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25 青山学院大学経済学部 松尾孝一 宛

e-mail: matsuo@econ.aoyama.ac.jp または matsuo-k@js7.so-net.ne.jp

Fax: 03-5485-0698

3. エントリー（投稿申し込み）

- (1) 氏名
- (2) 連絡先（郵便番号、住所、電話番号、Fax 番号、E-mail アドレス）
- (3) 所属機関・職名（大学院生の場合、修士課程・博士課程の区別、学年など）

4. 投稿希望書記載事項

- (1) 氏名
- (2) 連絡先（郵便番号、住所、電話番号、Fax 番号、E-mail アドレス）
- (3) 所属機関・職名（大学院生の場合、修士課程・博士課程の区別、学年など）
- (4) 論文・研究ノートの違い
- (5) 論文の題目
- (6) 論文の概略
- (7) 使用ソフトの名称
- (8) その他、編集委員会への質問等があればお書きください。
(松尾孝一)

以上